

# ～令和7年度 商業科通信～

2025/12/26(金)  
穂高商業高等学校

## ビジネス探究システムについて

本校では「ビジネスを探究する学校」を目指し、地域をフィールドとしたビジネス探究システムの構築を進めてまいりました。令和7年度に2年次PBLが開始され、システムが完成いたしました。地域企業や自治体と連携をしながら探究的に学んでいます。

このビジネス探究システムにより、キャリア教育優良学校として文部科学大臣表彰を受けることになりました！

### 1年 ケースメソッド【基礎】

ビジネスの場面における出来事を題材に、どのように行動するかを考え、話し合いをすることにより、課題を解決する力や意思決定能力、コミュニケーション能力などを養います。

### 2年 PBL【発展】

企業が抱えている課題などを題材に、調査や分析、検証、プレゼンテーションを行うことにより、情報を収集する力や思考力、表現力などを養います。

### 3年 地域人教育HOTAKA【実践】

人々の生活や暮らしの向上、地域の活性化などを目的に、企業や自治体、地域の人々と連携して課題を発見し、解決にむけて取り組むことにより、知識を活用する力を養います。

## 1年 ケースメソッド（ビジネス基礎）

ビジネスの場面で直面する様々なテーマのケース（事例）をもとに、登場人物になりきって「あなたならどうするか」を考え、まとめ、グループやクラス全体で議論をしながら学びます。自分の意見を他者に伝え、意見を聞くことにより、自分の考えに自信を持ったり、他者の考えを受け入れたりできるようになります。この学びをとおして、多面的思考力や、課題発見能力、問題解決能力を身につけていきます。

また、生徒たちが思考を止めず、自分で考え、挙手をして発言することを大切にしていますので、先生たちはファシリテーターに徹し、教える場面は少なく、生徒たちが主体的に学びます。



## 2年 PBL (ビジネス探究)

令和7年度は地域企業9社について課題解決のためのアイデア創出に取り組んでいます。まず、事業内容や、経営活動で生じる実際の問題について講義をしていただきました。その後、担当する企業を決定し、グループごと企業へ訪問して理解を深めました。穂商フェアでは企業紹介のポスターセッションを行いました。1月29日(木)穂高交流学習センターみらいで開催するビジネス探究発表会では課題解決のアイデアや取組について、プレゼンテーションを実施します。

企業	頂いた課題
松本マツダオート (自動車販売)	お客様に点検待ちの1時間をどのように過ごしてもらうか また来てもらうためにどんな関わりするか
本郷鶏肉 (食肉・惣菜の製造・販売)	若者にも山賊焼を身近に感じてもらうためには 若い人向けの宣伝方法は
ノムラ (精密部品加工)	展示会などで配布するノベルティ製品の企画 株式会社ノムラのオリジナルのプラスチック製品
大信州酒造 (日本酒醸造・販売)	廃棄される酒粕を有効活用する方法 廃棄費用がかかるため、商品化したりほかに転用して資金化したい
ヤマモト (スーパー・弁当惣菜販売)	SNSやWebをフル活用した広報活動 オーガニック部門に注目して宣伝ほしい
つなぐ(企業紹介冊子 「TSUNAGU」の発行)	進学を希望している高校生に『将来、地元で働く』ということを意識してもらうには
小柴屋(食堂・お座敷宴会場)	SNSを利用した情報発信と集客活動 広報活動や集客のツールとして公式Instagramを確立してほしい
小川原塗装店 (屋根・外壁塗装)	「SNSや動画などによる広報」「ガテン」×「塗装」×「小川原塗装店」 『働いてみたいと思ってほしい』『会社を知ってほしい』
藤澤組 (建設業)	建設業に興味を持てるプレゼンテーションの作成 動画の作成、ウェブページでの公開
松本信用金庫 (金融サービス)	ビジネス探究 PBL にご協力いただいた企業さんとの仲介をしていただきました。

### こしばや 小柴屋

#### SNSを活用した集客活動

私たちの班は小柴屋さんに、SNSを活用した集客活動をテーマにどのような方法で宣伝すれば若者や地元の人が小柴屋さんを訪れてくれるのかを考えました

#### 小柴屋の印象

まず私たちは小柴屋さんに対する印象を出し合いました。結果以下のような意見が出ました

- ・豊科駅にある
- ・宴会がよく開かれる
- ・様々なメニューがある
- ・飲食店

#### 小柴屋さんに見学に行く前に調べて分かったこと

- ・小柴屋さんは大正12年に豊科駅前に料理店として開業。
- ・地元食材を中心に、ジャンルにとらわれない美味しい料理を提供している
- ・Instagramを運用している

#### 疑問に思ったこと

- ・昔は食べ物の写真を投稿していたのに最近は定休日のお知らせしかないのか
- ・来店するお客さんはどのくらいの年齢の方が多いのか

#### 小柴屋さんに見学に行って分かったこと

- ・スタッフが少なくてSNSを運用する時間がない
- ・地元の人より観光客の来店のほうが多い
- ・平日は仕事終わりのサラリーマン、土日は家族連れのお客さんが多い

#### 私たちが考えたアイデア

- ・お店の雰囲気をSNSに投稿する
- ・「今日の店主のおすすめ」をSNSに投稿する
- ・チラシを作って行事の時に小柴屋を宣伝する



### 3年 地域人教育HOTAKA（課題研究）

グループごとに地域の問題を発見し、課題を設定して、解決に取り組む探究的な学びを実践しています。地域企業や社会福祉協議会、市役所、他校など様々な組織と連携しながら活動をしています。令和7年度の活動テーマは「人口」「施設・企画」「松本山雅」「観光」「特産品」「茶器の活用」「地域交流」「自然」「社会福祉（防災・育児・障がい）」です。

穂商フェアでは調査・報告・実践を行いました。自分たちで開発した商品を販売したり、研究した内容を来場者に説明したり、体験して頂いたりなどにより、探究的な学びの中間報告を行いました。1月22日(木)に豊科公民館で開催する課題研究発表会では1年間の取組について報告します。

講座	研究内容	穂商フェアブース企画
人口	安曇野市人口減少問題(原因・解決策)	安曇野市の魅力についての動画
社会福祉・育児班	児童館・保育園を広める	巨大迷路・射的・スライムづくり
社会福祉・福祉班	ボランティア、点字ブロック・覚障害者	車椅子、点字ブロック体験
社会福祉・防災班	避難所で快適に過ごすための道具作り	段ボールベッドなど代替品展示
地域交流	地域イベントポスターの制作 学校開放講座の企画。公民館講座に参加。	公民館講座についてポスター展示
松本山雅・交通	どうやったらアルウィン行きのバスを知ってもらえるかのPR	11/15の松本山雅対FC大阪高校生招待ゲームにむけたPR
松本山雅・フード	高校生に向けた映えフード(アサイー)	映えフードのアンケート調査 アサイーボウルの販売
自然・展示班	水について。ボランティアや工場見学 水資源の保護活動	安曇野の天然水、水結のついで展示 利き水体験
自然・コーヒー班	安曇野の名水に付加価値を生む コーヒーの淹れ方について	コーヒー、ケーキ、穂商シューの販売
特産品・おやき班	若者が食べようと思えるおやきの開発	安曇野おやき はいからと開発したおやき販売(ピザ、さつまいも、あんこ餅)
特産品・カシス班	みいまあ工房のカシスを使ったお菓子を 屋代南高校と共同開発	カシスを使ったスイーツの販売(カシスクッキー、琥珀糖、ボールクッキー)
特産品・全体	池田町産ガーデンハックルベリーを活用した商品開発	株式会社 辰巳と連携したガーデンハックルベリーのプリン
茶道	外国人観光局の増加と日本文化 地域の方から譲り受けた茶器の活用	茶道教室～米粉どら焼き「いなほ」とともに～
観光	安曇野の観光について	調査結果の発表。鉄道巨大すごろく。

令和7年度課題研究【特産品】講座

**安曇野のカシスを有名にしたい！**  
～屋代南高校と連携したお菓子の開発と販売～



カシスの宝石サンド (クッキー)

カシスドロップ (琥珀糖)

カシスボール (ボールクッキー)



## 進路実績（令和7年12月8日時点）

進路が決定した生徒3年生の状況です。かつては検定試験の合格数が絶対視されていた時代もありましたが、近年は選抜方法や選考方法が多様化し、評定や検定試験などの学習成績だけでなく、探究的な学びの実績のアピール

進学	4年制大学	短期大学	専門学校
総合型選抜	1	0	14
指定校推薦	16	7	15
学校推薦	1	0	6
一般	0		1
合計	18	7	36

就職	29
----	----

や卒業後のビジョンまで求める学校が多くなりつつあります。企業においても、「社会人基礎力」と呼ばれる非認知的能力が求められる傾向にあります。

### 「社会人基礎力」の定義（3つの能力・12の能力要素）

平成18年1月に経済産業省が主催した産学の有識者による委員会（座長：諏訪康雄法政大学大学院教授（当時））により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力（＝3つの能力・12の能力要素）」として定義。

#### 前に踏み出す力（アクション）

一步前に踏み出し、  
失敗しても粘り強く取り組む力

- 【主体性】 物事に進んで取り組む力
- 【実行力】 目的を設定し確実に行動する力
- 【働きかけ力】 他人に働きかけ巻き込む力

#### 考え抜く力（シンキング）

疑問を持ち、考え抜く力

- 【課題発見力】 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 【計画力】 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 【創造力】 新しい価値を生み出す力

#### チームで働く力（チームワーク）

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- 【発信力】 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 【傾聴力】 相手の意見を丁寧に聴く力
- 【柔軟性】 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 【状況把握力】 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 【規律性】 社会のルールや人との約束を守る力
- 【ストレスコントロール力】 ストレスの発生源に対応する力

社会人基礎力協議会「人生100年時代の社会人基礎力」の概念」<https://biz100.org/info/100-2>

## 産学官連携

- (1) 高大連携 「松本大学・松商短期大学部」
  - ・チャレンジ型：大学の講義を受講（2学年）
- (2) 松本信用金庫との包括連携協定締結（平成28年より）
  - ・2年生 ビジネス探究「PBL」
- (3) 安曇野市との包括的連携協定締結（平成30年より）
  - ・3年生 課題研究「地域人教育HOTAKA」
- (4) 株式会社 松本山雅・セイコーエプソン 株式会社
  - ・3年次課題研究「地域人教育HOTAKA」

## 地域との連携

学校開放講座（安曇野市主催）

- ・スマートフォン教室（商業科教員・3年課題研究の生徒）
- ・Canva教室（商業科教員・3年課題研究の生徒）

年賀状講座（穂高公民館主催）

- ・穂高公民館、穂高郵便局と連携（商業科教員・3年課題研究の生徒・コンピュータ部）

販売実習

- ・デパートゆにっと ・産業教育 MIRAI フェア・食の感謝祭 ・+Naturalな暮らし展